



第54回

環境賞

募集要項

「環境賞」は公害問題の解決が叫ばれていた1974年に創設され、半世紀にわたり環境保全や環境の質の向上に貢献すべく、時代の要請に応える優れた取り組みを表彰してまいりました。そして今、温暖化、資源の枯渇、生物種の絶滅など地球環境問題は深刻さを増し、身近な環境でも洪水などの甚大な気象災害も多発しています。こうしたなか、環境を守り、未来につなげる調査、研究、技術・製品開発、実践活動の実績を広く募集し、画期的な成果をあげた個人、法人、団体・グループなどに「環境大臣賞」をはじめ各賞を授与致します。

◆募集期間

2026年11月2日（月）～ 2027年1月5日（火）17時まで

◆対象

環境に関する調査、研究、技術・製品開発、活動などで画期的な成果をあげ、または成果が期待されるもので、環境賞の目的にふさわしいものとする。

- ① 脱炭素社会の構築に関するもの
- ② 生物多様性をはじめとする自然環境の保全に関するもの
- ③ 循環型社会の形成に関するもの
- ④ 大気環境、水環境、土壌環境などの保全に関するもの
- ⑤ 化学物質の環境リスクの評価・管理に関するもの
- ⑥ 環境への取り組みによる災害の防止および減災に関するもの
- ⑦ その他、環境保全や環境の質の向上に関するもの

◆応募資格

環境保全や環境の質の向上への貢献が認められる成果、または貢献が期待される成果をあげた個人、法人、団体・グループなど。

◆応募方法

環境賞の公式ホームページから所定の申請書をダウンロードし、必要事項を記入してアップロードしてください。<https://biz.nikkan.co.jp/sanken/kankyo/>
データ量が多い場合はデータ転送サービスをご利用下さい。

主催：国立環境研究所／日刊工業新聞社

後援：環境省

◆審査要綱

1. 審査期間 2027年1月上旬～3月下旬
2. 審査項目
「独創性」「将来性」「有効性」「経済性」「環境保全に対する貢献度」の5つの視点を中心に審査します。
3. 審査手順
書類審査、ヒアリング審査、最終審査を経て選考します。
※共同申請者がいる場合は、本件との関係や役割を詳しく記入してください。
※ヒアリング審査は2027年3月中旬の予定です。申請者本人（代表）が必ず出席してください。

◆審査委員会

審査委員長	渡辺 知保	（長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環特命教授）
審査委員	角倉 一郎	（環境省総合環境政策統括官）
	大島 義人	（国立環境研究所理事長）
	新藤 純子	（山梨大学名誉教授）
	筒井 康賢	（高知工科大学名誉教授）
	中静 透	（東北大学名誉教授）
	長谷川 裕夫	（東京都立産業技術研究センター名誉フェロー）
	安河内 朗	（九州大学名誉教授）
	山本 佳世子	（電気通信大学教授）
	松木 喬	（日刊工業新聞社編集委員）
専門審査委員	谷貝 雄三	（環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室長）
	日置 潤一	（国立環境研究所企画部長）

◆発表・贈賞式（予定）

2027年4月中に日刊工業新聞で発表し、環境月間の6月に都内で贈賞式を開催。

- 環境大臣賞 1点（表彰状、盾）
- 優秀賞 1～2点（賞状、盾）
- 優良賞 1～2点（賞状、盾）

※審査委員会特別賞を授与する場合があります。

- 審査結果の理由や途中経過など審査に関するお問合せには、一切応じかねますので予めご了承ください。
- 応募後の代表申請者、共同申請者の追加は認められませんのでご注意ください。
- 日刊工業新聞社では、各種商品・サービスのご案内およびその改善を目的に個人情報を利用させていただく場合がございます。

【お問い合わせ先】
「環境賞」事務局

日刊工業新聞社 経営管理本部 総務部 顕彰事業グループ
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL:03 (5644) 7117/FAX:03 (5644) 7294 E-mail: kankyo@nikkan.tech

